



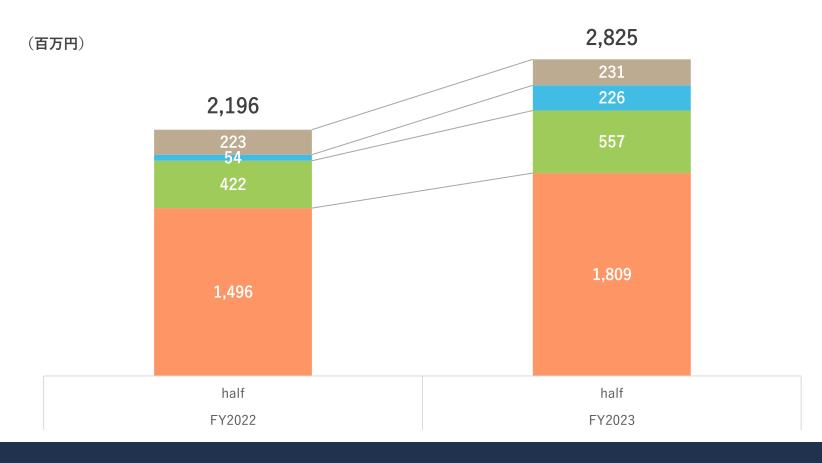
【半期】業績サマリー 前年同期比

国内・海外ともに為替市場が活況だったため本業である営業収益は**増収**となったが、前年同期に計上したファンド運用益344百万円が当半期は106百円の損失に転じたことにより**減益**となった。

単位:百万円	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
単位・日の门	1-2Q(2021.4-9)	1-2Q(2022.4-9)	増減率
営業収益	2,196	2,825	+28.6%
純営業収益	2,156	2,672	+24.0%
営業利益	200	192	△3.9%
経常利益	538	61	△88.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	348	13	△96.2%

【半期】営業収益の内訳 前年同期比

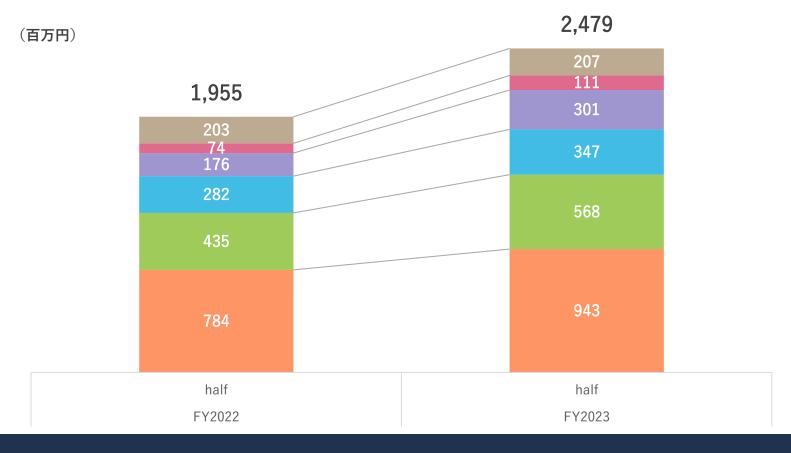
為替市場が活況だったため、トレーディング収益・受入手数料が増加し、金融収益は米 国の金利上昇の影響により増加した。



- **その他の営業収益** 前年同期比 +3.5%
- **金融収益** 前年同期比 +**318.6**%
- **受入手数料** 前年同期比 + **32.1**%
- トレーディング損益 前年同期比 +20.9%

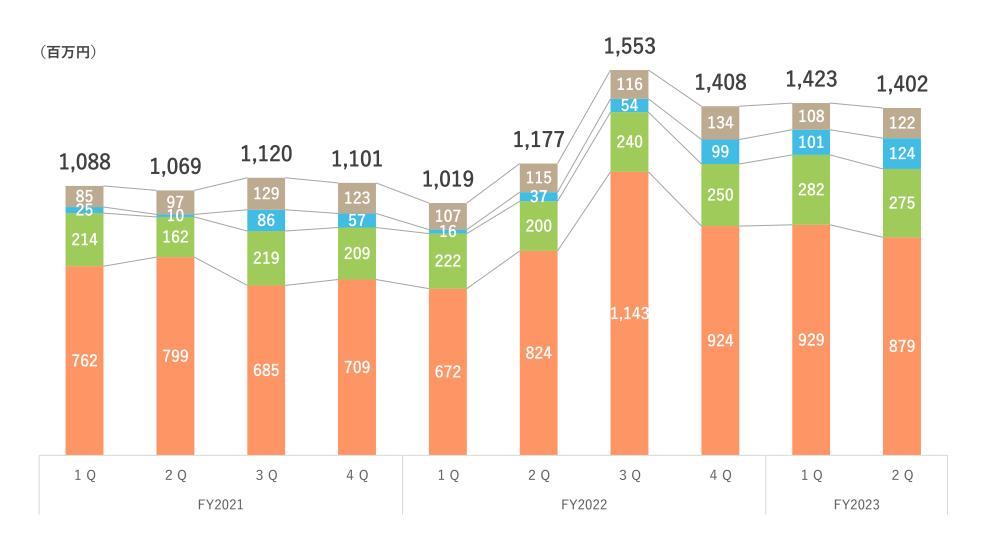
【半期】販売費・一般管理費の内訳 前年同期比

海外事業拡大のため人件費の増加、および新サービスAIトレード「マイメイト」の積極的な広告投下により広告費が増加。



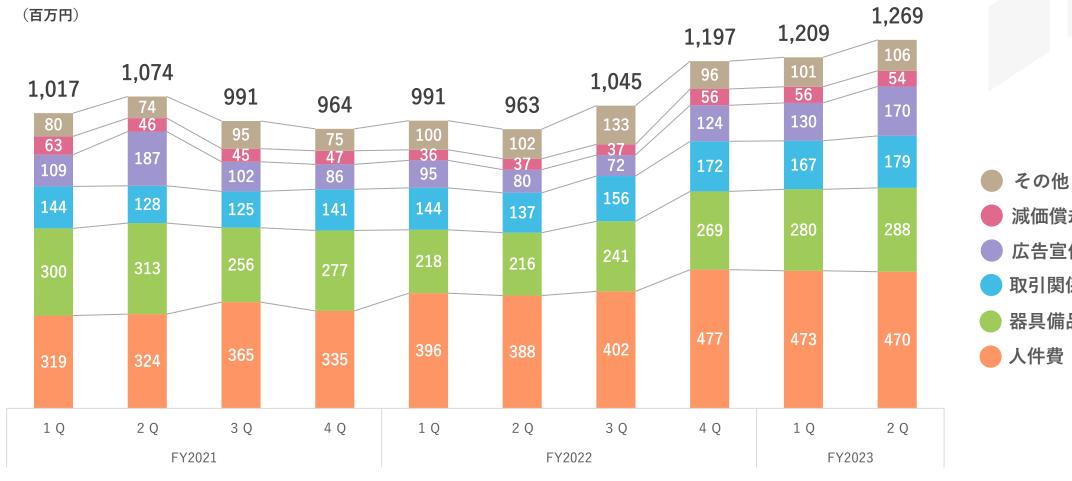
- その他 前年同期比 + 2.0%
- **減価償却費** 前年同期比 +**50.3**%
- **広告宣伝費** 前年同期比 +**71.1**%
- **取引関係費** 前年同期比 + 23.1%
- **器具備品費** 前年同期比 +**30.7**%
- **人件費** 前年同期比 +**20.3%**

営業収益の推移



- その他の営業収益
- 金融収益
- 受入手数料
- トレーディング損益

販売費・一般管理費の推移



減価償却費

広告宣伝費

取引関係費

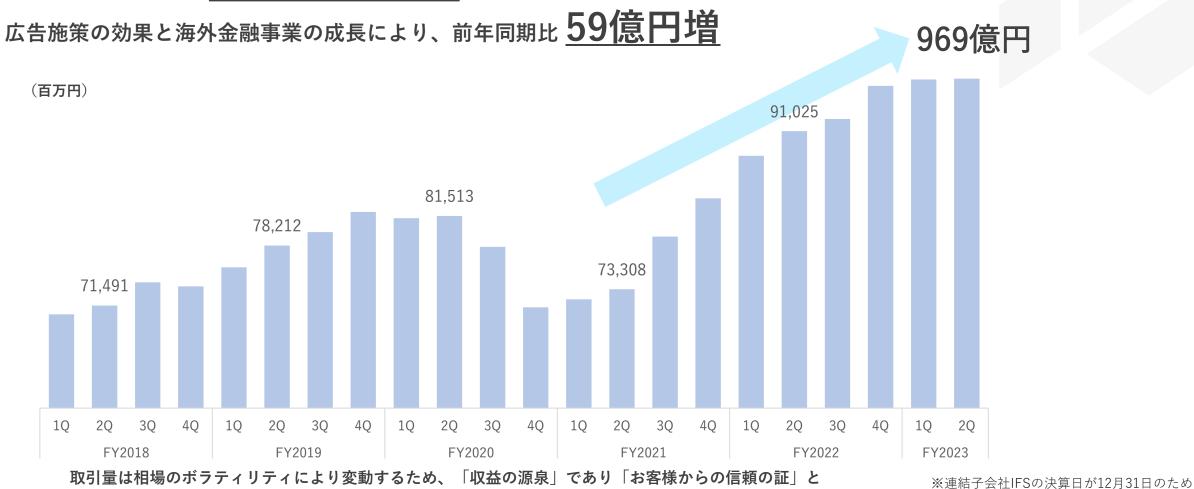
器具備品費

人件費

グループ全体 預かり証拠金残高

預かり証拠金残高は 969億4 百万円

なる預かり証拠金残高は重要な指標となります。



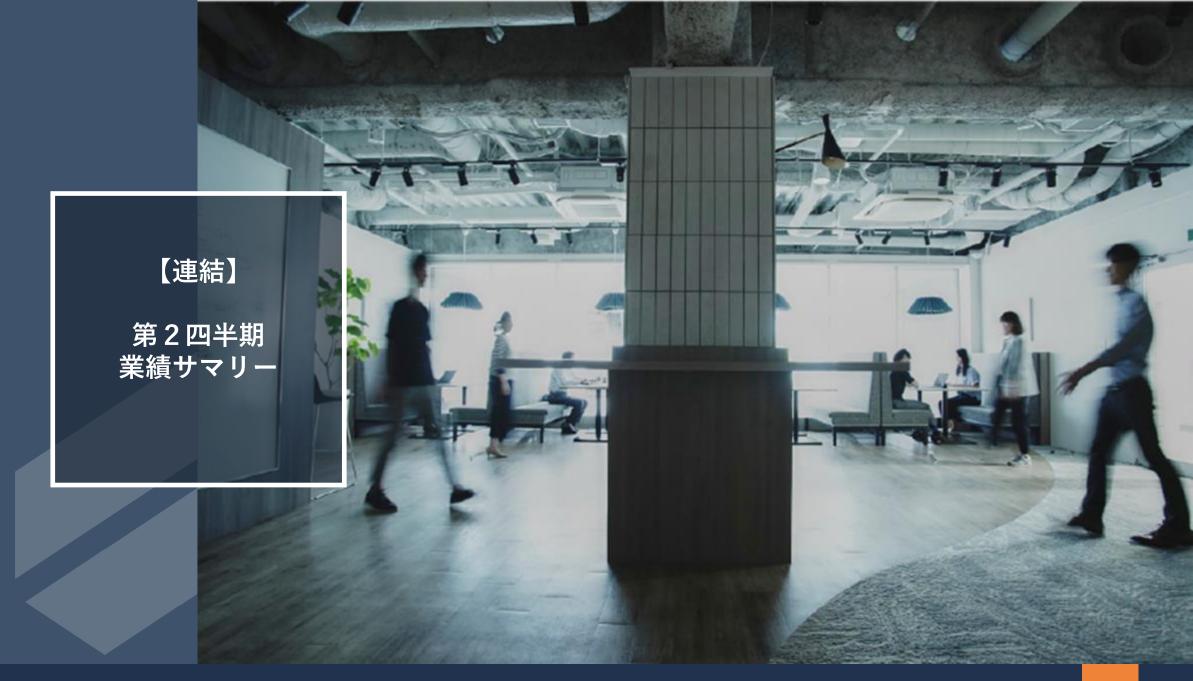
Copyright© INV Inc. All Rights Reserved

IFSの数値は3ヶ月前の値となります。

【半期】セグメント別業績サマリー 対前年同期比

単位:百万円		2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
		1-2Q(2021.4-9)	1-2Q(2022.4-9)	増減率
国内金融事業	純営業収益	1,375	1,589	+15.6%
当 内 壶 融 争 耒	営業利益	103	84	△17.9%
海外金融事業	純営業収益	825	1,183	+43.3%
	営業利益	119	187	+56.6%

8

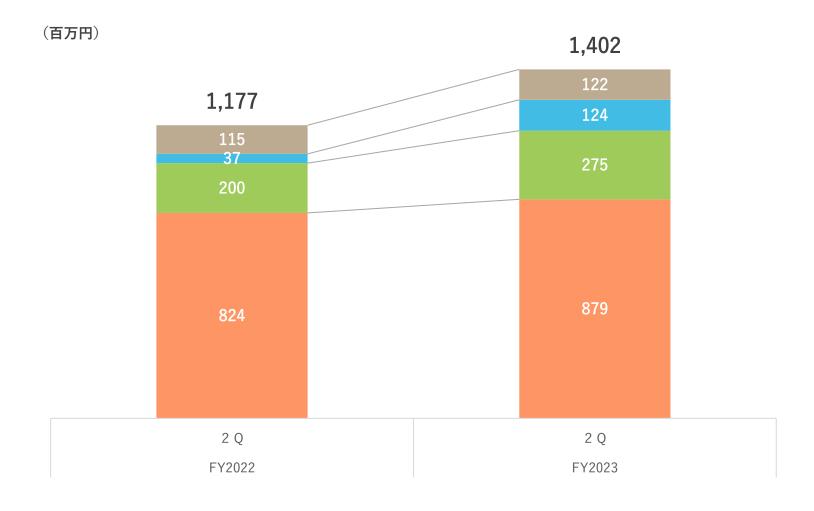


【第2四半期】業績サマリー 対前年同期比

営業収益は**増収**となったが、国内金融事業での広告強化および前年同期で計上したファンドの運用益が運用損に転じ、43百万円の損失を計上したため**減益**となった。

単 位:百 万 円	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期比
半心・日刀口	2 Q(2021.7-9)	2 Q(2022.7-9)	増減率
営業収益	1,177	1,402	+19.1%
純営業収益	1,148	1,350	+17.6%
営業利益	184	80	△56.6%
経常利益	245	20	△91.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	155	2	△98.7%

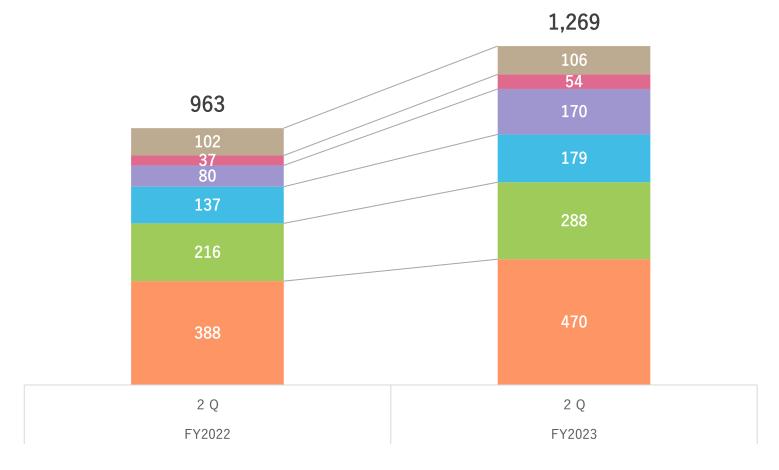
【第2四半期】営業収益の内訳 前年同期比



- **その他の営業収益** 前年同期比 +**6.0**%
- **金融収益** 前年同期比 +**232.5**%
- **受入手数料** 前年同期比 + **37.4**%
- トレーディング損益 前年同期比 +6.8%

【第2四半期】販売費・一般管理費の内訳 前年同期比





- その他
- 前年同期比 +3.3%
- 減価償却費
- 前年同期比 +44.4%
- __ 広告宣伝費
- 前年同期比 +112.3%
- ▲ 取引関係費
 - 前年同期比 +30.7%
- ▲ 器具備品費
 - 前年同期比 +32.9%
- _ 人件費
 - 前年同期比 +21.2%

【第2四半期】業績サマリー 対直前四半期比

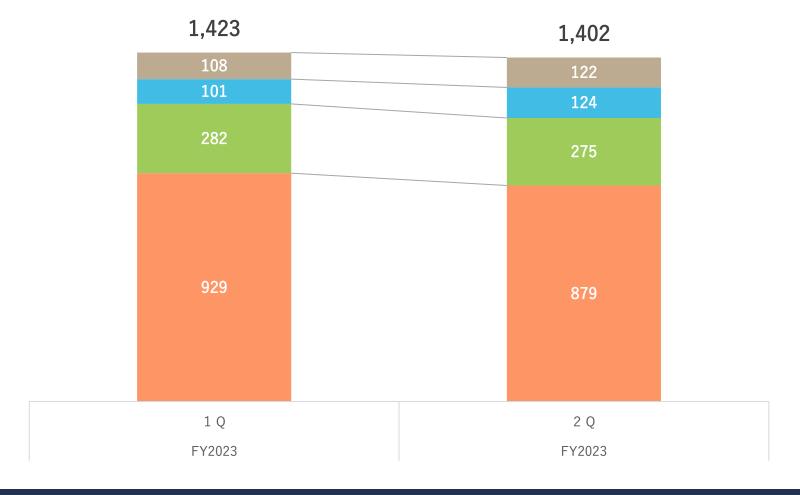
単位:百万円	2023年3月期 1Q(2022.4-6)	2023年3月期 2Q(2022.7-9)	対直前四半期比 増減率
営業収益	1,423	1,402	△ 1.5 %
純営業収益	1,322	1,350	+2.1%
営業利益	112	80	△28.6 %
経常利益	41	20	△50.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	2	△81.7%

Copyright© INV Inc. All Rights Reserved

13

【第2四半期】営業収益の内訳 対直前四半期比

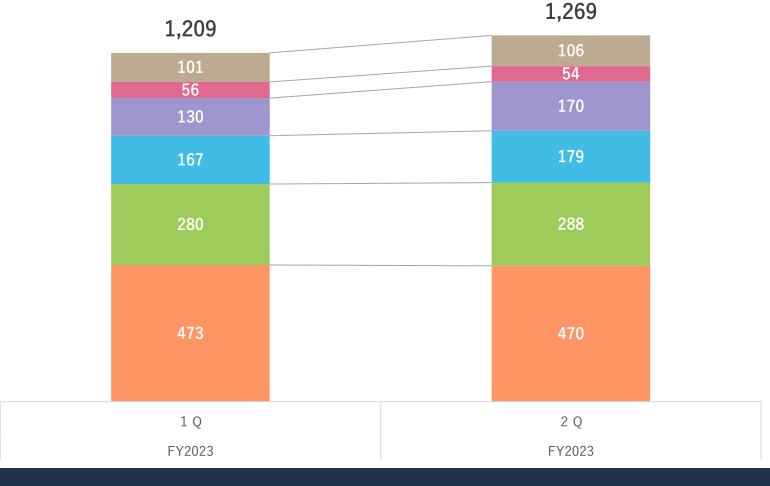
(百万円)



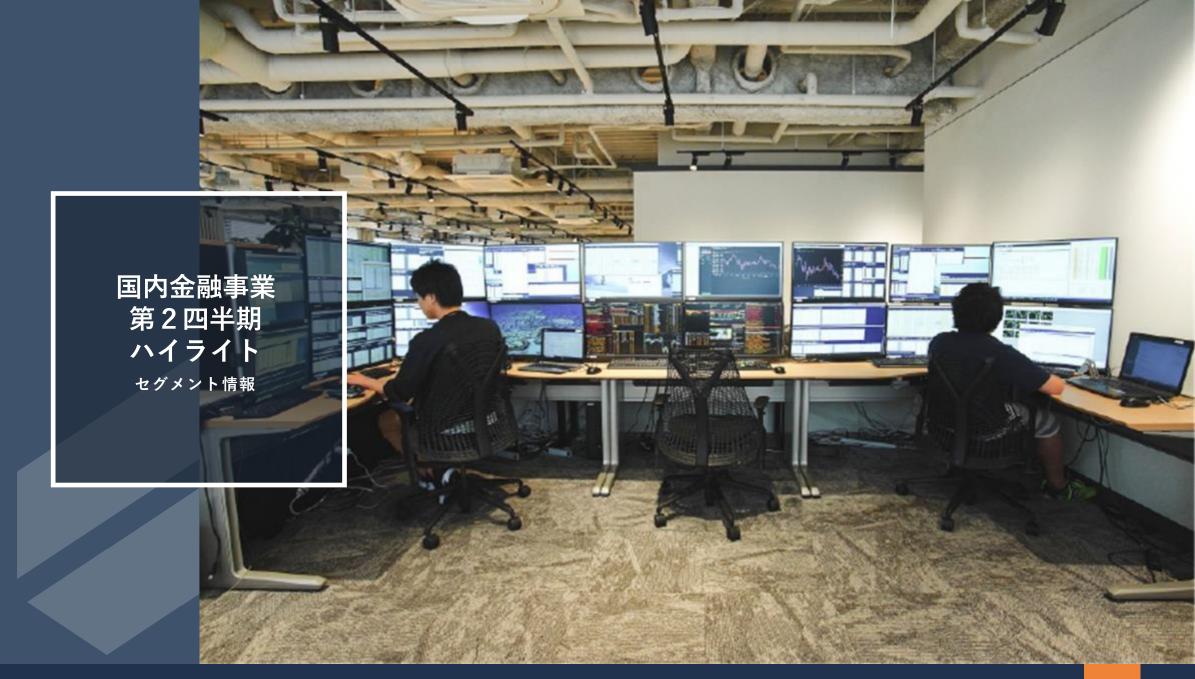
- **その他の営業収益** 直前四半期比 + **12.4**%
- **金融収益** 直前四半期比 +**22.7%**
- **受入手数料** 直前四半期比 △**2.6**%
- トレーディング損益 直前四半期比 △5.4%

【第2四半期】販売費・一般管理費の内訳 対直前四半期比





- **その他** 前四半期比 +4.9%
- 前四半期比 △4.3%
- **広告宣伝費** 前四半期比 +**30.8**%
- **取引関係費** 前四半期比 +**7.5**%
- 器具備品費 前四半期比 +2.6%
- **人件費** 前四半期比 △**0.5**%

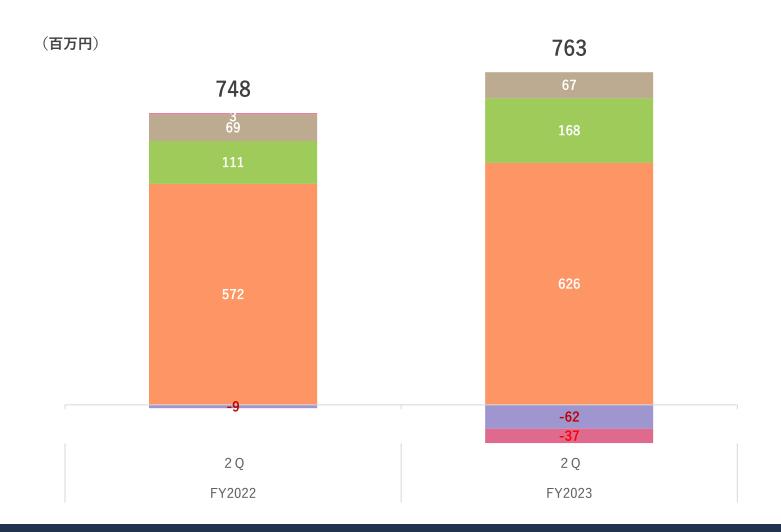


セグメント別業績サマリー 対前年同期比

国内金融事業は円安の影響を受け国内のFXトレードの需要が増加したことにより**増収** となった。営業利益は主にマイメイトの認知拡大およびユーザー獲得のため積極的な広 告強化(前年同期比84百万円増)により**減益**となった。

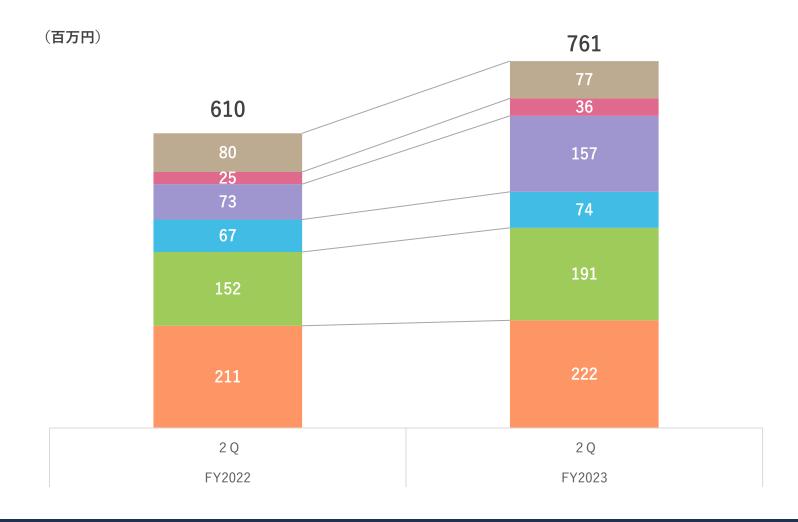
単位:百万円		2022年 3 月期	2023年3月期	対前年同期比
半 江・	1 // 13	2 Q(2021.7-9)	2 Q(2022.7-9)	増減率
	純営業収益	748	763	+2.1%
国内金融事業	販売費 一般管理費	610	761	+24.7%
	営業利益	137	2	△98.2%

セグメント収益の内訳



- その他の金融費用
- セグメント間調整額等
- その他営業収益 前年同期比 △2.4%
- **受入手数料** 前年同期比 +**51.1%**
- トレーディング損益等 前年同期比 +9.4%

セグメント別販売費・一般管理費の内訳

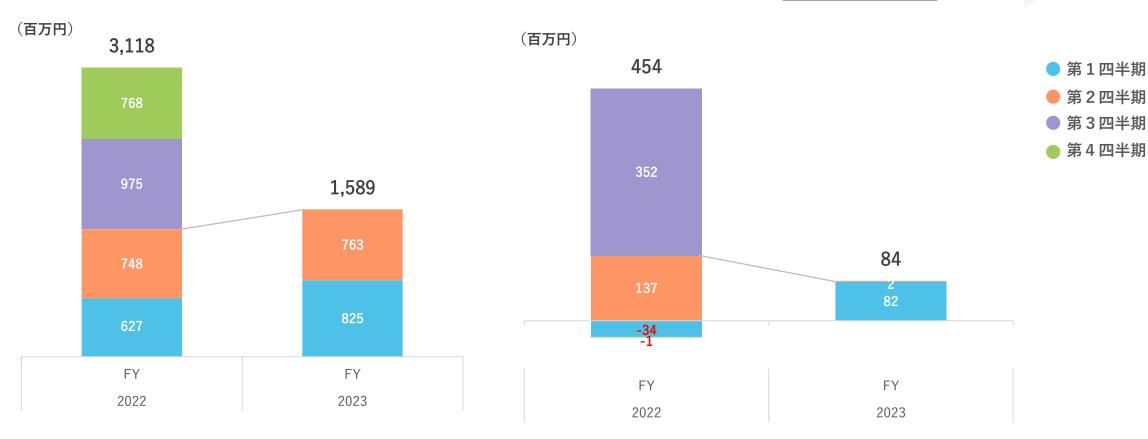


- その他
 - 前年同期比 △3.7%
- 減価償却費
 - 前年同期比 +44.4%
- __ 広告宣伝費
- 前年同期比 +116.1%
- ▲ 取引関係費
 - 前年同期比 +10.9%
- 器具備品費
 - 前年同期比 +25.8%
- 人件費
 - 前年同期比 +5.4%

純営業収益・営業利益の四半期の積上

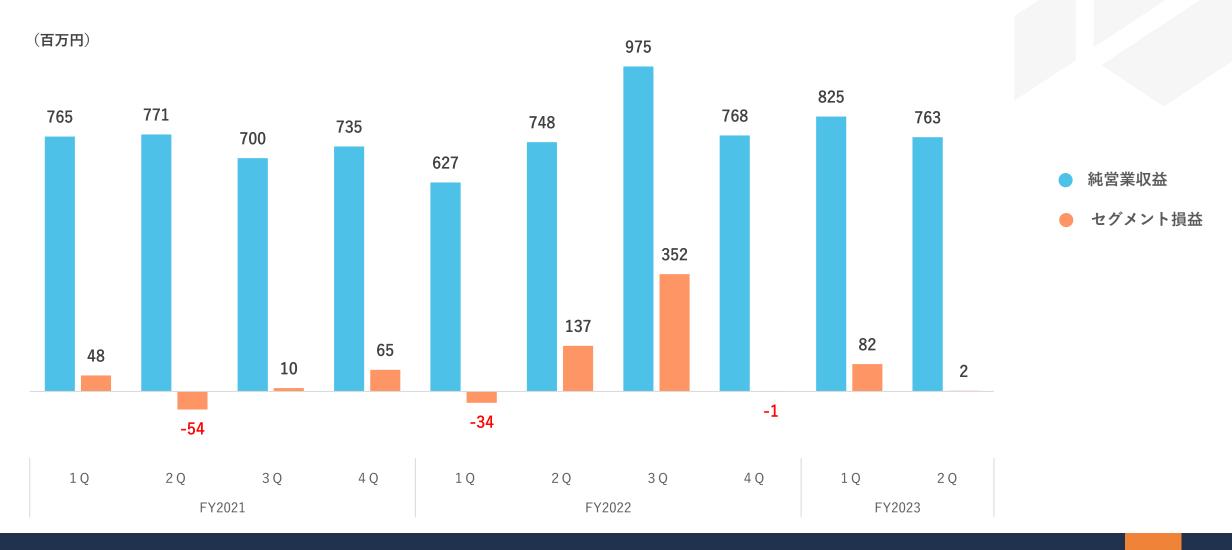
純営業収益

前年同期比 <u>+15.6%</u> の <u>15億89百万円</u> 前年同期比 <u>△17.9%</u> の <u>84百万円</u>



営業利益

純営業収益・営業利益の推移



預かり証拠金残高推移と口座数

預かり証拠金残高は前年同期比41億円増の **857億91百万円** 国内口座数は **49万口座**



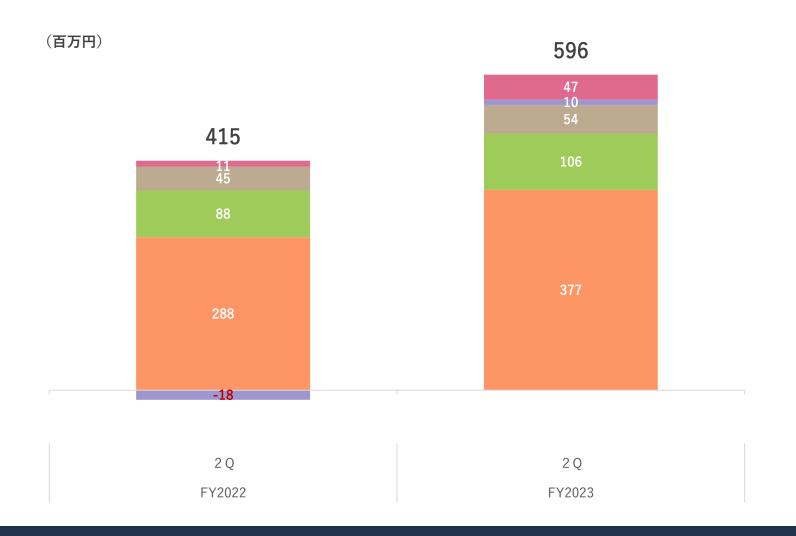


セグメント別業績サマリー 対前年同期比

海外金融事業は為替・コモディティを中心に市場が活発になったことで取引量が増えたことや昨年設立したキプロス共和国内の現地法人を中心に顧客網の拡大が進んだことにより、**増収・増益**となった。

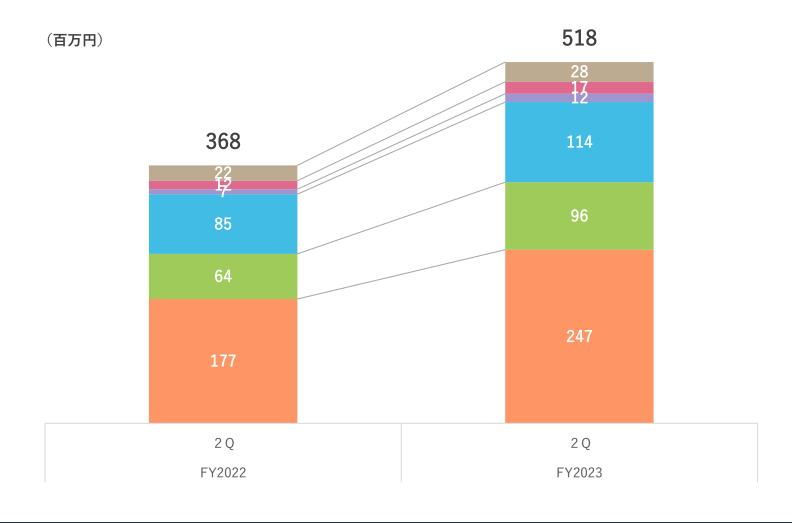
単 位:百 万 円		2022年 3 月期	2023年3月期	対前年同期比
羊 四・日		2 Q(2021.7-9)	2 Q(2022.7-9)	増減率
	純営業収益	415	596	+43.5%
海外金融事業	販売費 一般管理費	368	518	+40.8%
	営業利益	47	77	+64.5%

セグメント別純営業収益の内訳



- その他の金融費用
- セグメント間調整額等
- その他営業収益 前年同期比 +18.6%
- **受入手数料** 前年同期比 +**20.2%**
- トレーディング損益等 前年同期比 +30.8%

セグメント別販売費・一般管理費の内訳



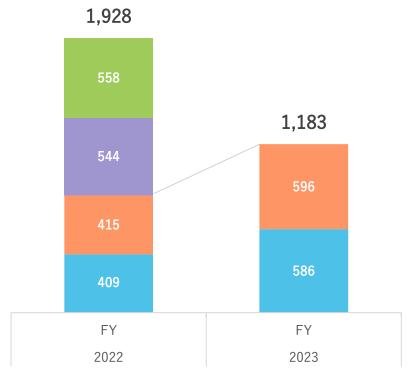
- その他
- 前年同期比 +29.2%
- 減価償却費
- 前年同期比 +44.5%
- __ 広告宣伝費
 - 前年同期比 +74.9%
- ▲ 取引関係費
 - 前年同期比 +34.9%
- 器具備品費
 - 前年同期比 +49.8%
- ▲ 人件費
 - 前年同期比 +40.1%

純営業収益・営業利益の四半期の積上

<純営業収益>

前年同期比 <u>+43.3%</u> の <u>11億83百万円</u>

(百万円)



<営業利益>

前年同期比 <u>+56.6%</u> の <u>1 億87百万円</u>



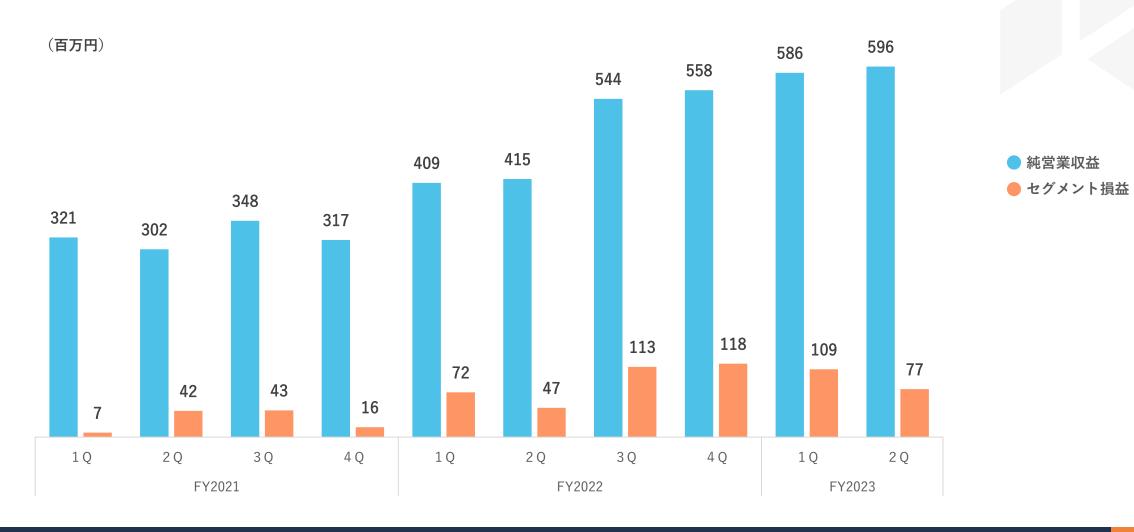
●第4四半期

●第3四半期

●第2四半期

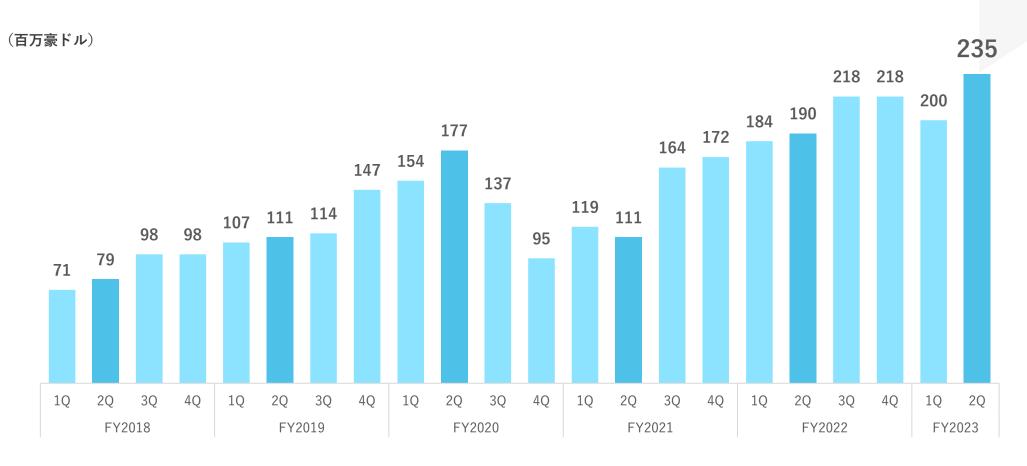
● 第1四半期

純営業収益・営業利益の推移

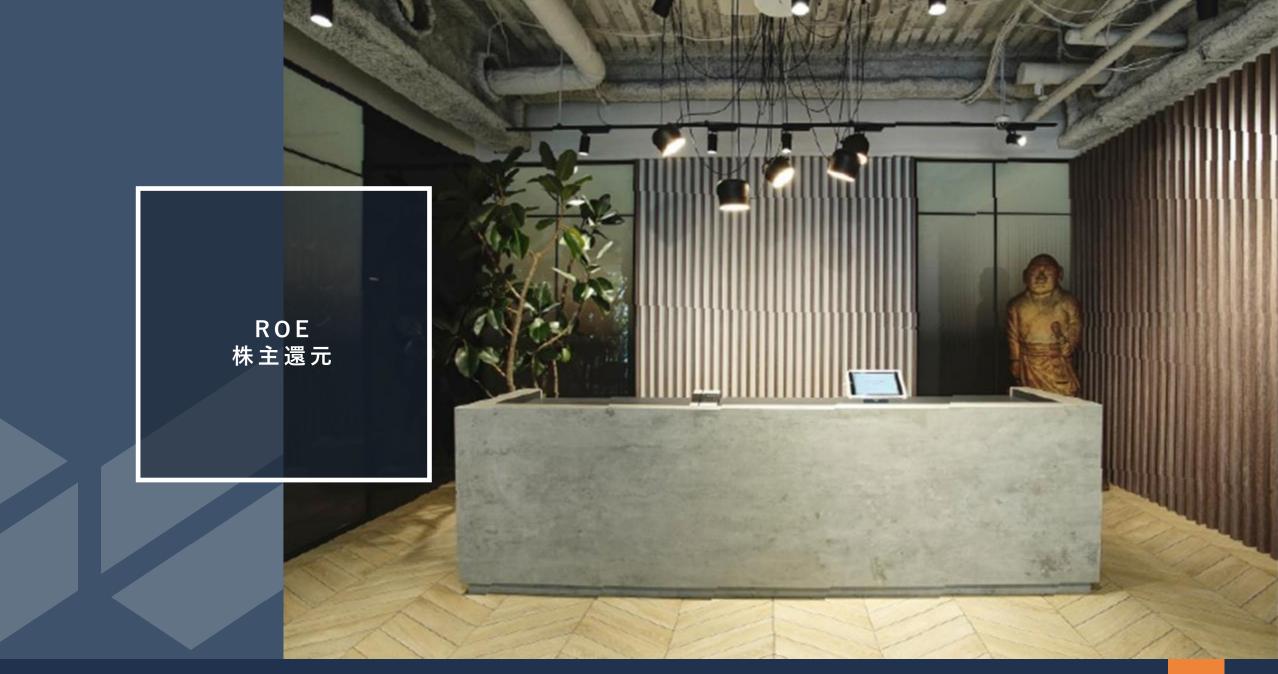


預かり証拠金残高推移

海外事業の預かり証拠金残高は前年同期比 +23.4% の 2 億35百万豪ドル

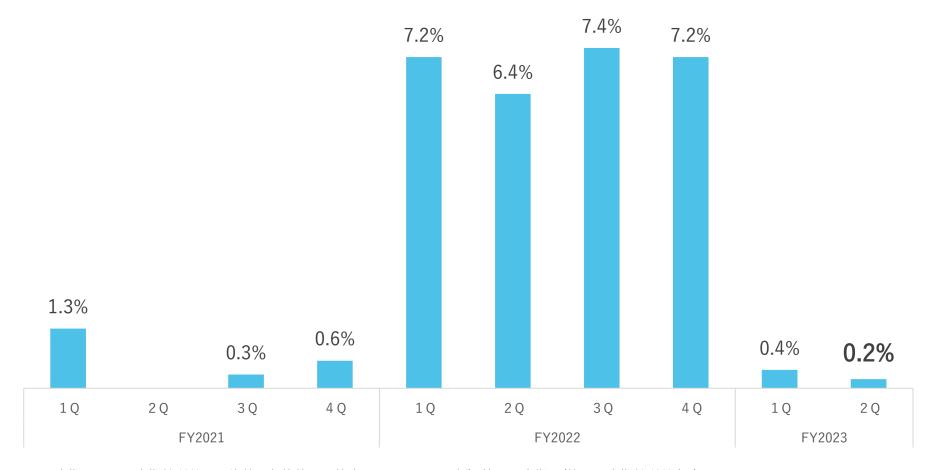


※海外金融事業は決算日が12月末日のため数値は3ヶ月前の値となり、第2四半期は2022年6月30日時点の預かり証拠金残高となっています。



株主資本利益率(ROE)

2023年 3 月期 第 2 四半期の株主資本利益率(ROE)は 0.2%



※四半期ROEは四半期純利益の平均値を年換算して算出しております。例)第3四半期は(第3四半期純利益/3)×4

株主還元

2023年 3 月期は 1株あたり 38円 を配当予定

配当利回り 4.6%*1

※配当利回りは2022年9月30日の終値「810円」で算出

配当方針

当社は株主の皆様へ**安定的な株主還元**の継続を前提としつつ、 業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針としていま す。

そのため連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE) 2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、中間・期末の年2回の余剰金の配当を行ってまいります。

※今期の配当は予想であり保証するものではありません。

配当実績と予想

決算期		2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
1株当たり	中間	18.0 %2	18.0	19.0
配当金額	期末	19.0	24.0	19.0 (予想)
(円)	合計	37.0	42.0	38.0 (予想)
当期純利益(百	当期純利益(百万円)		808	
配当総額(百万円)		217	246	
配当性向		359.6%	30.5%	
ROE		0.6%	7.2%	
DOE		2.0%	2.2%	
配当利回り ※1		5.2%	4.6%	

※1:配当利回りは各年度末日の終値で算出

※2:2021年3月期中間はインヴァスト証券株式会社での配当実績



Mission

存在する目的

Vision

目指す姿

世界をもっと、良い場所にする

世界中の人々の金融面における課題を解決するソリューションを提供し、人々の幸せを通じて世界を「もっと良い場所」にする。 私達の考える「もっと良い場所」とは、一生懸命働いている人が、ちゃんと豊かになれる世の中であり、優秀で、意欲のある学生が、お金を理由に未来の選択肢を諦めなくても良い世の中であり、

どんな人でも、幸せになる為の資産形成が出来る世の中です。

私達のミッションは、世界中の人々が、それぞれに想い描く人生設計において、金融面の課題を解決するソリューションを生み出すこと、挑戦する人をサポートし、より多くの人が人生を豊かにするためのチャンスをつかむ、お手伝いをすることです。

金融という側面から、世界中の人々の幸せを通じて、より良い世界の構築に貢献していきたいと考えております。

2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出す

資産運用からスタートし、育児や教育、就職や結婚、資産形成など、世界中の人々の人生における様々な分野で、 金融面の課題を解決するソリューションの創造を目指します。

私達は、全世界から集まった優秀な人材が、日々、本物のプロフェッショナルとしての責任を果たしビジョン達成の為に議論し、決断を下し、実行に移す、世界中に顧客を持つグローバル企業になります。 その第一歩として、2025年までに全世界で1,000万人の利用者を持つ金融ソリューションを生み出します。

ビジョン達成に向けた経営戦略 ~ STAGE 2 ~

1

2017>>>2019年

既存事業の収益力向上 新規事業の創出 STAGE

2020>>>2022年

事業の継続的成長 グループシナジーの追求 STAGE

2023>>>2025年

全世界で1,000万人の利用者を持つ グローバル企業へ

投資期間

育成期間

収穫期間

経営戦略 (STAGE2:2020>>>2022年)

1 事業の継続的成長

- ・国内金融事業:重点事業(トライオート、マイメイト)への経営資源集中
- ▶ ・海外金融事業:プライムブローカレッジ市場におけるトップクラスのグローバルマーケットプレイヤーを目指す
 - ・R&D、テクノロジー活用を軸とした商品・サービスの高度化

ク グループシナジーの追求

- ・2020年10月、持株会社体制へ移行(株式移転完全親会社:インヴァスト株式会社の設立)
- ・新規事業開始等の戦略実行にあたり、柔軟かつスピード感のある機動的な体制の構築
- ▶ ・事業ポートフォリオの分散(投資助言、不動産ファイナンス事業等の比率アップ)
 - ・グローバルベースでのシナジーの発揮(グループITマネジメント、共通業務の集約化による業務プロセス効率化等)
 - ・各子会社成長に加えてM&Aも活用

3 その他

- ・企業ブランド価値向上(IR・PR)
- ・グローバル展開に対応しうる優秀な人材の獲得、組織の人材基盤強化

35

インヴァスト株式会社 会社概要



会社名	インヴァスト株式会社 (英語名 INV Inc.)
住所	〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目5番6号
1	
代表者名	代表取締役社長 川路 猛
設立日	2020年10月1日
1	
資本金	500,000,000円
I	
事業内容	グループ会社の経営管理および新規事業開発
ı	
上場市場名	東京証券取引所 スタンダード
1	
証券コード	7338

免責事項

本資料に掲載されている情報は、当社グループの事業の情報提供を目的としたものであり、 投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれています。 将来の見通しに関する記述には、様々なリスクや不確定要因が伴うため、 現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で 示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。

本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、 その時点で提供可能な情報であり、その完全性、正確性、適用性、有用性等いかなる保証も行っておりません。

掲載された情報に基づく判断については、利用者の責任のもとに行うこととし、 当社はこれにかかわる一切の責任を負うものではありません。